

令和7年2月19日県土整備常任委員会

◆宇野裕 委員 御苦労さまでございます。それでは、道路問題を中心に何点か質問させていただきたいと思います。

まず、圏央道の地域活性化インターチェンジについて御質問いたします。

諸般の報告では、大栄一横芝間に設置される2つのインターチェンジの名称が決定したこと、成田空港と圏央道を直接結ぶ新たなインターチェンジに地域活性化インターチェンジ制度が適用可能になったと2点の御報告がありました。インターチェンジ名称が公表され、大栄一横芝間の令和8年度までの開通に対する期待はこれまで以上に高まっているところであります。

我が党の代表質問におけるエアポートシティ実現のための取組に関する知事の答弁では、圏央道への地域活性化インターチェンジの設置等により県経済の発展につなげることであり、圏央道と空港を直結するインターチェンジは、成田空港や周辺地域にとっても大変重要であると認識しているところであります。県は成田国際空港株式会社や周辺自治体と連携し、地域活性化インターチェンジの具体化に向け、どのように取り組むのか、お答えをいただきたいと思います。

◎説明者（横田道路計画課長） 道路計画課でございます。

成田空港と圏央道を直接結ぶ新たなインターチェンジについては、昨年8月に地元市町の協力を得て現地の測量であるとか地質調査などの実施に関する地元説明会を開催して、現在、事業化に向けた検討を進めてるところでございます。先般、国から地域活性化インターチェンジ制度を圏央道にも適用されたとの国の発表を受けて、今後、事業化に必要な新規インターチェンジの圏央道に連結するための許可申請に向けた準備を進めていきたいというふうに考えてございます。また、県としては、地域活性化インターチェンジの早期実現に向け、国の助言を受けながら周辺市町や空港会社と連携し、全力で取り組んでいきたいというふうに考えてございます。

以上でございます。

◆宇野裕 委員 ありがとうございます。地域活性化インターチェンジについては、空港周辺の計画に遅れることのないよう、しっかりと取り組んでいただきたいと要望を申し上げます。

次に、広域的な幹線道路ネットワークにアクセスする銚子連絡道路について、これまで何度も何度か質問させていただきましたけども、お伺いさせていただきたいと思います。

令和4年度に事業化された匝瑳市から旭市間については道路の設計が進められるとともに、今月から境界立会いが実施されていると聞いています。昨年3月に皆様方のお力で開通いたしました横芝光町から匝瑳市間においては、過去に一部で事業に対する地元の御理解が得られず、境界立会いの実施までに時間を要し、長い間、用地交渉に着手できなかった区間がありました。このため、地元へ丁寧な説明を行いながら境界立会いを実施することは、事業を進める上で極めて重要であると考えているところであります。

そこでお伺いいたします。銚子連絡道路の匝瑳市から旭市間の取組状況をお伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

◎説明者（齊藤道路整備課長） 道路整備課でございます。

銚子連絡道路の匝瑳市から旭市間の13キロメートル区間につきましては、現在、道路の橋梁の設計を進めるとともに、今月の4日から全区間を対象に境界立会いを行っているところでございます。今後は道路区域の変更手続など、用地取得に向けた準備を進めていく予定であります。引き続き地元の皆様の御理解と御協力をいただきながら事業を推進してまいります。

◆宇野裕 委員 ありがとうございます。今月から全区間において境界立会いが行われていることがよく分かりました。今後は準備ができ次第、用地取得に着手することになりますが、事業延長が13キロメートルと長く、関係する地権者も大変多いと聞いております。地元では、横芝光町から匝瑳市間が開通したインパクトが大変大きくて、道路整備の機運が高まっているところであります。このため、匝瑳市から旭市間については、全区間を対象に一気に用地取得を進めていただきたく、そのためには今後の用地取得をどのような体制で進めるのかが課題であると考えるところでございます。

そこで、銚子連絡道路の匝瑳市から旭市間の用地取得をどのような体制で進めるのか、お伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

◎説明者（齊藤道路整備課長） 銚子連絡道の匝瑳市から旭市間の用地取得に当たりましては、事業規模が大きく、地権者の数も約400名と多いことから、効率的に用地を取得するため、地元市への協力要請や千葉県土地開発公社、民間事業者への業務委託に加えまして、経験豊かな職員で構成された用地機動班の配置などを検討しているところでございます。県といたしましては、今後の用地取得が円滑に進むよう努めてまいります。

◆宇野裕 委員 ありがとうございます。銚子連絡道路の匝瑳市から旭市間は関係する、今お話をありましたように、地権者が大変多いことから、用地取得に向け

て、まずは境界立会いを円滑に進めていただきたいと思います。

また、用地取得については、地元市に御協力をいただきながら千葉県土地開発公社や民間事業者へのアウトソーシングなどを総動員して取り組んでいただきたいと思います。私、地元の海匝土木事務所の皆様方とよちゅうお話をさせていただいておりますが、とにかくマンパワーが不足をしているということを、現場の所長さんはじめ職員の皆様と声が出てます。ぜひ全庁挙げて人員の確保にお力添えをいただきたいというふうに思う次第でございます。

最後になりますが、銚子連絡道路関連でお伺いをしたいと思います。銚子連絡道路匝瑳インターチェンジを生かした産業の受皿づくりについてであります。

私の地元である匝瑳インターチェンジの供用開始から間もなく1年が経過しようとしておるところであります。その整備効果を地域の活性化へつなげるための重要な施設である産業の受皿づくりについても、市における企業ヒアリング等に並行して住民への説明会が継続的に開催され、非常に期待も大きく、先月の1月31日には、地権者が主として構成する匝瑳インターチェンジ周辺まちづくり協議会の発足に至りました。今後、協議会では、良好なまちづくりのための望ましい土地利用を研究し、事業の実現に向けて検討を行っていくとしております。一方で、特に昨今の社会経済状況から、人件費や資材の高騰に加え、匝瑳市の財政も大変厳しいと聞いております。事業の実現のためには、国や県の財政的な支援は欠かせないと考えているところでございます。

そこでお伺いをいたします。県は匝瑳市への財政支援についてどのように考えているのか。よろしくお願いします。

◎説明者（菰田都市計画課長） 都市計画課でございます。

匝瑳市への支援についての御質問ですが、これまで県では、令和5年11月に国交省が創設した産業用地の整備の促進のための社会資本整備総合交付金や、昨年11月に内閣府が創設した新しい地方経済・生活環境創生交付金などの制度を紹介してきるところでございます。また、令和7年度から拡充される予定の県の立地企業補助金につきましても、今後、商工労働部と連携して制度を紹介していきたいと考えております。県といたしましても、今後とも匝瑳市が進めている匝瑳インターチェンジ周辺における産業用地整備については、商工労働部をはじめとした関係部局と連携しながら積極的に支援してまいります。

以上でございます。

◆宇野裕 委員 ありがとうございます。感謝申し上げます。

最後に要望でございますが、様々な財政支援については、よく今の御答弁で分か

りました。匝瑳市にとって、産業用地の整備は銚子連絡道の整備効果を実感できる重要な事業の1つであると考えてるのでございます。

先ほども御説明させていただきましたけども、住民参加の協議会の発足など、この機運の高まりを持続しているところであります。その早期実現を目指すため、県といたしましても、引き続き積極的な御支援をお願いするとともに、様々な課題に対して、都市計画課がワンストップでこの事業、そもそも都市計画課がワンストップでやっていただけるというところで始まったと聞いております。都市計画課がワンストップ相談窓口として取り組んでいただきたく、お願いを申し上げまして、私の質問を終わります。ありがとうございます。